

技術・家庭科（家庭分野）の学習について（第1学年）

1 技術・家庭科（家庭分野）の目標

- ・家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境等について、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付ける。
- ・家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決しようとする力を養う。
- ・自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

2 学習計画

1 学期	2 学期	3 学期
<ul style="list-style-type: none">・ガイダンス・自分の成長と家族・家庭生活・食事の役割と食習慣・中学生に必要な栄養を満たす食事・さまざまな食品とその選択	<ul style="list-style-type: none">・調理の計画・野菜の調理・肉の調理・魚の調理・地域の食文化・持続可能な食生活	<ul style="list-style-type: none">・日常食の調理・補修の必要性・衣服の収納・保管・つなげよう和服の文化・まかせて衣服の手入れ

3 評価の観点 評価の資料

観 点	学習活動及び評価方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none">・生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境についての基礎的な理解と、それに係る技能を身に付ける。 （小テスト、定期テスト、製作、調理実習等）
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none">・家族・家庭や地域における生活の中から家族・家庭生活・食生活について問題を見だし、課題をもって考え、解決する力を身に付ける。 （日頃の課題、レポート課題への取り組み、話し合い活動、発表等）
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none">・身近な生活の課題を主体的に捉え、具体的な実践を通して、課題の解決を目指す。（話し合い活動への参加、授業の取り組み姿勢、課題への取り組み、提出等）